

ぜんまい

令和8年 4月
第80号



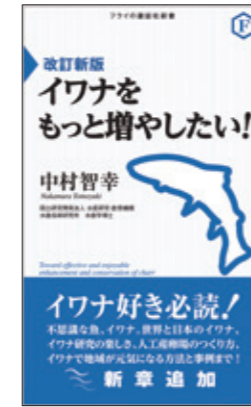
にこ淵：「仁淀ブルー」で有名な高知県の仁淀川支流・枝川川にある滝つぼ

CONTENTS

巻頭言	2	ワカサギふ化施設導入に関する支援制度のご案内	19
全内漁連開催の各会議について		我が種苗センター（栃木県漁連）	20
総務委員会を開催	4	気になる研究結果（静岡県内漁連）	22
ブロック会議・推薦委員選出協議会を開催	4	住宅地近接コロニーにおけるカワウの銃器捕獲	24
第1回種苗対策委員会を開催	4	内水面漁協（第50回）	26
第1回日光委員会を開催	5	愛しきアユ（第53回）	27
みんなでやるぞ内水面事業の現地調査・総合評価検討委員会		日光支所から	28
ならびに事業報告会を開催	5	全内漁連の新年度事務体制について	29
第19回内水面漁業の施策に関する意見交換会を開催	10	業務日誌	30
令和7年度補助事業の実施結果報告	14	職員のつばやき	31
令和7年度委託事業の実施結果報告	16	新聞記事から	31
ずっとかかわってきたい内水面	18	編集後記	31

漁業者（会員漁連の傘下漁協組合員）年間契約「四回発行」定価三、〇〇〇円（送料別）
漁業者以外の購読者 年間契約「四回発行」定価四、〇〇〇円（送料別）
単品定価八、五〇〇円（送料別）
単品定価一、一〇〇円（送料別）

刊行物案内



「改訂新版 イワナをもっと増やしたい！」 中村 智幸（著）

イワナや溪流釣り好き必読！2007年に出版された本の改訂版で新章を複数追加。イワナの生態、増殖方法、保全方法、釣りが好きの釣りのルール、魚が増える釣りのルール、漁協の遊漁料収入が増える釣り場作りなどを紹介。溪流釣りに関する法律や規則も解説。
本体：1,500円+税10% 定価1,650円
240頁 2025年11月20日発売

問い合わせ先：有限会社 フライの雑誌社
東京都日野市西平山2-14-75



「シジミ漁業の現状と課題 -漁場からの報告-」 中村 幹雄（編著）

2000年に出版された中村幹雄編著『日本のシジミ漁業』の改訂版として、新たな知見と最新の状況を加えて再構成したものです。

本体6,800円+税10% 定価7,480円

問い合わせ先：日本シジミ研究所
島根県松江市玉湯町林1280-1
電話：0852-62-8956
<https://yamatoshijimi.com/>



日光支所から

日光事業運営委員会

令和8年1月26日、東京都千代田区の丸石ビルにおいて、標記委員会を開催しました。当日は、湊屋啓二委員（秋田県）・松元平吉委員（群馬県）・米村義信委員（山口県）、全内事務局から中奥龍也専務理事、遠藤祐二日光支所長他3名が出席しました。始めに、全内役員改選により委員が変更されたことから、委員長に松元委員を選出し、中奥専務理事より、日光事業をめぐる諸課題について説明を行い、今後の改善方策について協議しました。

日光事業の運営面の課題については、収支改善を図るための釣魚料金の改定など、委員から様々な改善策が提起され、できることから事務局で検討を進めることとなりました。

また、中・長期的な課題については、湯ノ湖・湯川の歴史的な経緯等も踏まえながら、引き続き水産庁および水研機構と緊密に連携して対応することが確認されました。

当面、3月11日に開催される湯ノ湖・湯川調査研究推進協議会に向けて、釣魚料金の改定案を検討することとなりました。

湯ノ湖・湯川調査研究推進協議会

この協議会は、年に1回開催し、水産庁が所管する湯

との回答がありました。

湯ノ湖・湯川調査研究推進協議会規約改正について、令和8年度からの水研機構の部門名変更（環境・応用部門→環境・基盤部門）に伴う改正案が承認されました。

情報提供では、水研機構から海上保安庁特殊救難隊による湯ノ湖における冬季訓練等について、宇都宮大学から日光ネイチャーカレッジの活動について、株式会社テクノアーツから湯ノ湖における懸濁化によるコカナダモ繁殖抑制試験（岡山大学との共同研究）についてそれぞれ説明がありました。主な質疑では、全内から懸濁化によるコカナダモ繁殖抑制試験について、釣り場運営への影響が懸念されることを伝えました。

解禁に向けて

水研機構と協力して実施してまいりました釣魚者アンケート調査が令和7年度で終了しました。これまでご協力いただいた釣り人の皆様には心より感謝申し上げます。全内では、引き続き水研機構の調査研究に協力しつつ、湯ノ湖・湯川の釣り場運営を行ってまいります。

湯ノ湖と湯川の釣り場解禁を令和8年5月1日（金）に控え、準備を進めています。釣魚期間は、5月1日から9月30日の5ヶ月間です。

なお、令和8年度から釣魚料金を変更させていただきますので、詳しくは本会HP等でお知らせいたします。

全国内水面漁連の新年度事務体制について

今後とも皆様のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【本所】

専務理事	中奥 龍也
経理課兼総務課	
課長	三栖 誠司・・・経理業務、総務全般、補助事業全般
経理課	課長補佐 三森 由貴子・・・経理業務
総務課	課長補佐 山口 紫布・・・機関誌・広報、アユ種苗配付事業
	職員 鎗田 弥生・・・総務、委託事業（水産多面的）
業務課	課長 岩下 誠・・・補助事業（みんなでやるぞ内水面）
	課長補佐 師田 彰子・・・補助事業（長期研修支援事業）
	調査役 森 竜也・・・新規採用
	委託事業（カワウ・外来魚、アユ）

【日光支所】

日光支所長	遠藤 祐二・・・釣場管理業務、支所総務全般
職員	橋爪 歩美・・・釣場管理業務、経理業務

ノ湖・湯川において各機関が行った調査結果や、全内が行った釣り場管理の状況を国・県・市の関係機関と地元自治会や関係者に報告し、今後の利用方法等を話し合います。

本年度は、令和8年3月11日、栃木県日光市の水研機構日光庁舎おさかな情報館セミナー室においてオンライン併用で開催され、全内からは中奥龍也専務理事と遠藤祐二日光支所長が出席しました。

令和7年度調査研究報告では、水研機構から令和7年度湯ノ湖・湯川調査報告として、25年間にわたる継続的な釣魚者アンケート調査の取りまとめ結果の報告があり、研究当初の目的が達成されたことからアンケート調査は令和7年度をもって終了するとの説明がありました。また、全内から令和7年度湯ノ湖・湯川研究協力業務実施報告書について報告し、環境省日光国立公園事務所からは湯川の特定期外来生物オオカワヂシャ駆除について説明がありました。主な質疑では、湯川を愛する釣り人の会からアンケート調査が終了しても釣りは出来るのかとの質問があり、全内の釣り場運営については従来通りとの回答がありました。

令和8年度調査研究計画では、水研機構から今後の湯ノ湖における調査やヒメマス等の放流について、全内から令和8年度の釣魚料金の改定等について、環境省日光国立公園事務所から今後のオオカワヂシャ駆除計画についてそれぞれ説明を行い、全て提案どおり了承されました。主な質疑では、湯川を愛する釣り人の会から通行止めとなっている木道の復旧状況について質問があり、日光国立公園事務所から完全復旧にはまだ2〜3年かかる見込みなので、う回路を活用してほしい

もつと
鱒を楽しもう。

食べなきゃ鱒そん

安心の生食

生でも安心の国産淡水養殖サケ・マスたちです。

（一社）北海道内水面漁業連合会
 青森県養鱒協同組合
 岩手県内水面養殖漁業協同組合
 宮城県養鱒組
 福島県養鱒技術研究会
 栃木県養鱒協同組合
 群馬県養鱒協同組合
 新潟県にじます組
 長野県養殖漁業協同組合
 信州虹鱒養殖漁業協同組合
 山梨県養殖漁業協同組合
 富士養鱒漁業協同組合
 愛知県淡水養殖漁業協同組合
 岐阜県池中養殖漁業協同組合
 滋賀県淡水養殖漁業協同組合
 鳥取県養鱒連絡協議会
 広島県マス類生産者会
 南九州養鱒連合会
 みやぎ銀ざけ振興協議会

全国養鱒振興協会
 Japan Trout Farmers Association
 URL: <http://www.zenmasu.com/>

会長理事 小堀 彰彦
 事務局 〒441-2224 愛知県北設楽郡設楽町 豊利字豊田27番地
 電話: 0536-64-5311 FAX: 0536-64-5135